

一般社団法人こどものための音環境デザイン Acoustic Design for Children (ADC)

2021年度事業計画

2021年 3月 3日 から 2022年 2月 28日まで

1. 事業の実施方針

2021年度は、設立初年度の事業成果を踏まえ、「情報発信・共有」「音環境づくり支援」の事業について内容の充実と事業化を促進する。「調査・研究」については、研究助成を活用した事業を進めると共に、アドバイザーボード・メンバー、サポート・協働メンバーを始めとする“みみのひなかま”と連携し、新たな課題に取り組むことを目指す。「人材育成」「優良施設表彰」事業については、事業化のための調査（先行事例のヒヤリング他）に着手する。また、事業全体の活性化のために“みみのひなかま”による勉強会や交流会を実施し、その他の事業展開の可能性も探るなど、事業運営の基盤を固めていく。

2. 事業内容

2.1 情報発信・共有

① 公開オンラインセミナー

2021年3月3日、音環境が保育実践に及ぼす影響についての公開オンラインセミナーを開催する。

② オンラインセミナー「こどものおと」

こどもを取り巻く音や音環境をはじめとして、環境全般、あるいはこどもの育ちや教育など、多くの方々に伝えたい事柄を、オンラインセミナーとして届ける「こどものおと」を4回程度開催する。

③ 学協会での報告

関連する学協会で、積極的に情報発信を行う。

2.2 音環境づくり支援

① 園内研修・ワークショップ

保育園をはじめとするこども施設の環境改善・向上、ならびに音環境を考慮した保育実践について、保育者を対象とする園内研修（現地・オンライン）や、建築設計関係者や一般の方をも対象とするワークショップを開催し、事業化をはかる。

② 保育施設音環境づくりコンサルティング

既設こども施設の音響改修、新設こども施設の建築音響設計に関するコンサルティングについて、事業化をはかる。

③ 音環境づくり支援グッズ開発

こども施設の音環境づくりを支援する各種グッズの開発に着手する。

2.3 調査・研究

① 研究助成を活用した調査・研究

ニッセイ財団をはじめとする研究助成を活用し、新たな課題、社会的ニーズの高い課題に関する調査・研究を実施する。

② 大学等との連携による調査・研究

横浜国大、明治大学をはじめとする研究機関と連携し、新たな課題、社会的ニーズの高い課題に関する調査・研究を実施する。

③ 新しい吸音材などの事例調査

新しい吸音材の事例などを調査し、情報共有につとめる。

2.4 人材育成

保育や子どもの活動について一定の知識を持ち、物理的・建築的な環境面で音環境づくりを担うことのできる人材の育成に向けたシステムづくりについて検討する。

2.5 優良施設表彰

ADC デザイン賞（仮称）などの創設に向けて、検討を行う。

3. その他

3.1 “みみのひなかま”の交流イベント

ADC の趣旨に賛同し、様々な形で活動をサポートしたり連携したりしてくれる方々を「みみのひなかま」と名付け、2021年3月3日に設立1周年記念イベントとして、オンラインによる「みみのひなかま」交流会を実施した。さらに活動の輪を広げつつ、定期的に情報交換する機会や、勉強会などを企画する。

3.2 ホームページ・SNS ページの充実

ADC のホームページの改編と、Facebook をはじめとする SNS ページへの投稿により、内容を充実させ、法人からのタイムリーな情報発信につとめる。

3.3 その他 こどもの音環境に関わる事業

ユニバーサルデザインの考えを取り入れ、誰もが一緒に楽しめる音楽鑑賞の機会をつくるイベントづくりに参加、協力する。